



第61回TPKF大会 (2025年4月28日～30日)

献身の証し

丸岡福音キリスト教会協力牧師 庭井 要



「ヨハネの子シモン。あなたは、この人たち以上に、わたしを愛しますか。」(ヨハネ 21・15～16)

【神の導き】今から六十数年前、私は友人に誘われて教会に行き、22歳の時に入信し喜びに満ちた信仰生活を始めました。しかし、喜びがだんだん無くなり信仰がマンネリ化してきました。そんなとき新年の聖会があり出席し、冒頭の聖句が心に強く迫ってきました。集会後ひとり涙ながらに自らの不信仰や不平をお赦しくださいと主に祈りました。今から心を新しくしてあなたを愛していきます、と悔い改めの祈りをいたしました。すると「わたしの羊を飼いなさい」との声が心に響き「はい」と返事をしました。それが私の伝道者になる献身の祈りでした。

後日そのことを牧師先生に伝えました。すると、4月から1年間教会で献身生活をして、聖書を読むこと、祈ること、伝道すること、奉仕

することを熱心にするよう言われました。献身生活中、私の心にはいつも「われ十字架をとらん 全てを捨てて」という讃美歌がありました。そして26歳の春、インマヌエル聖宣神学院に入学いたしました。

【献身の喜び】主は僕の信仰の火が消えそうになっていた時、素晴らしい聖会に導いてくださり、大きな主の愛を注いでくださいました。あれから六十余年たちますが、「汝われを愛するか」と言われた言葉は昨日のように思い出します。もしこの言葉がなかったら献身もしなかったでしょうし、伝道者にもなっていなかったでしょう。今、改めてそれをおもうとき、感謝せずにはおれません。また、未信者家庭に育ち、献身を喜んでくれる者は誰もなく、むしろ反対され、ここまで多くの方々に祈られ支えられて伝道者の務めをさせていただいたことは至上の喜びです。現在2教会の協力牧師として御用をしていますが。間もなく人生が終わりですが、僕の願いはリバイバルが起こり、家族や友人や街の方々が多く救われ、神の民となり共に天国に行くことです。

パリに遣わされて③

—海外に住む日本人—

吉田 隆

2025 年 4 月にパリ プロテスタント日本語キリスト教会に 3 カ月の予定で遣わされました。現在ヨーロッパには、シェンゲンという規定があり、これに加盟している国では、観光・ビジネス・訪問などの短期ビザで滞在できる期間が 90 日以内であると決まっています。

パリ教会での働きは、過密です。今回は、渡仏以前から二人の中高校生クラスのメンバーに洗礼を授けるという予定があらかじめ組まれていました（6/8 と 6/22 に洗礼式）。加えて、能登震災支援チャリティーコンサートが行われることも決まっていました。このコンサートには、ドイツ人でリストの血統を受け継ぐ若手ピアニストと日本のヴァイオリニストでパリ教会の初めての受洗者である蜷川いづみ姉が演奏してくださいました。

アメリカのロサンゼルスなどには、比較的多くの日本語教会がありますが、フランスの場合は、フランス全土でここパリに日本語教会が一つあるだけです。厳しい異国の地、仏語に取り囲まれた環境にあって、日本語で交流をし、日本語のメッセージを聴くという機会は、日本国内にいるのとは異なる意味をもっています。パリ教会の場合は、集っていらっしゃる皆様が聖書を神のことばと信じ、祈りに大きな意味を覚えていらっしゃる方々で

すから、ノンクリスチャンの方々がイエス様に導かれるように、主が働いてくださっています。祈祷会は牧師館（アパート）で毎週木曜日の午後 2 時からと ZOOM で午後 8 時から行われています。

その他に家庭集会やカレーの会などがあり、ほとんどの場合参加者の中には求道者の方々が含まれています。



実は、妻と私がマーケットで買い物をしている時に、日本語で話していたので、「日本人ですか？」と話しかけてくださった日本人の女性の画家の方がいらっしゃいました。そこでメールを交換して、後に能登震災支援コンサートにお誘いしましたが、あいにくご都合が悪く、来られませんでした。その翌々日の月曜日に、妻が教会のそばを歩いていると、道端に座ってその女性が絵を描いているのに出会いました。市民だけで 200 万人いるといわれるパリの街で、こうして出会うことは奇蹟的なことです。

主が求道者の方々に決心に導いてくださるようにお祈りください。

～T P K F 三役の提言～

原点回帰

～ペンテコステのスピリット～

副委員長 山本義武



ペンテコステによる聖霊の働きは、今の時代も続いています。先日、日本ペンテコステ協議会（JPC）の研修会に参加しました。そこでは、ペンテコステ人の使命は「超自然のインパクトライフ」とであると語られました。また、私たちは請求書の祈りではなく領収書の祈りが必要である、との促しがありました。TPKF 三役の上田勇矢師が参加された 6 月の世界ペンテコステ会議でも「神の栄光のためにしるしと不思議を行い、使徒の働きで神が聖霊の力によって行われたことを、私たちの今の時代にも行うように召されたのだ」と語られました。今、世界ではペンテコステの御業の波が押し寄せ、多くの国々で聖霊の御業を体験し、癒やされ、解放され、救われていく人々が起こされています。世界で働かされている聖霊の御業が、この日本にも行われていくと信じます。

若者たちから高齢の方々に至るまで、多くの人々に飢

え渇きがあるのに、その飢え渇きに自分自身が気付くことなく、また、気付いたとしても、どこに解決を求めて良いか分からずにいます。

今は、AI で瞬時に方法や解決、結論を得ることができる時代、プロのような作品さえも、慰めの言葉さえも瞬時に提供してくれる時代です。各国の人口における AI 使用率は、中国が 80 %、幾つかの欧米諸国は 50 % や 60 %、日本は 30 % ほどだそうです。この先、日本の使用率も高くなっていくことが予想されています。これからの世代の人たちは、そのような中で生きていくのです。しかし、そこに慰めや励まし、解決を求めたとしても、本当のいのち、聖霊の働きがなければ、まことの救い、解決はありません。

どのような時代でも、聖霊の力ある働き、神の御業が私たちを通してなされていくこと、神に創造された人が、神に愛される人として生きるために、ペンテコステの原点に私たちは心を留めたいと思います。

「神はこの聖霊を、私たちの救い主イエス・キリストによって、私たちに豊かに注いでくださったのです。」

（テトス 3：6）

第 61 回 T P K F 大会の感謝 大会事務局長 山本義武



2025 年 4 月 28 日（月）～ 30 日（水）、第 61 回 TPKEF 大会が福井県県民ホール（福井県福井市）にて行われました。大会テーマは『最後まで走り抜け～ Finishing Well ～（ヘブル 12:1）』、講師には元ハガイ・インスティテュート学院長で Finishing Well（フィニッシ

ング ウェル）ミニストリーズのデイビッド・ワング師をお迎えしました。福井での開催は 2018 年以來 7 年ぶりで、TPKEF 諸教会から 200 名を超える方々の参加がありました。

主は、ワング師を通して、聖書に登場する人物から信仰生活の勝利や失敗の姿、また、信仰生活を最後まで走り抜くことの重要さを、それぞれの信仰者の姿を通して 4 回にわたり語ってくださり、大きな励ましと希望を頂きました。また、2 日目には 4 つの分科会を行い、多くの方々が恵みと学びを頂くことができました。

昨年から対面形式となり、主の臨在の中、ともに集まって主を礼拝し交わることが今年もできました。多くの皆様方が参加して下さり、大会会計も満たされ、祈り支えてくださったことに心から感謝します。そして、私たちの主に心から感謝します。

大会報告

大会では聖会が 4 回もたれました。大会テーマ『最後まで走り抜け』から、講師のデイビッド・ワング師と通訳の小山大三師を通して、最後まで走り抜くことの励ましと信仰のスピリットを頂くことができました。聖書に記されている人物の姿とみことばから、人が持つ頑なさや無知といった弱さ、清い良心や柔軟さ、従順といった信仰の姿などが示され、不完全、未完成なように見える終わりでも、最後まで走り抜く時、神の御手の中では完全であることに励ましが与えられました。

2 日目の分科会では、①若者同士の楽しい交わりや励ましがあ、北村聖慈師によってみことばが語られた「ユース」、②賜物を求め聖霊に満たされ続けることの重要性が中見透師によって語られ、異言の賜物が与えられた方々もおられた「聖霊のバプテスマ」、③日本には 99% の救われるべき人々がいるという信仰によって始められた、長崎県長与町での具体的な宣教活動が津嘉山ファビオ師夫妻によって語られた「国内宣教」、④高齢化社会で人生のエンディングを教会がどのように捉え、クリスチャンが備えるべきかが平川久師と良き隣人バンクの広田信也師

によって語られた「エンディングセミナー」が、4 つの会場で行われました。

聖会Ⅱでは小山勇兄・唯姉夫妻のヴァイオリン、山本紫姉のピアノ、山本愛生姉のフルートによる賛美、聖会Ⅲでは大久保雅春兄のサクソによる賛美のミニコンサートが行われました。会場は適度な大きさと、音響や映像関連を FCMF で担当し、美しい賛美、豊かな賛美の大会となりました。各聖会・セミナーと同時進行で行われたキッズ集会、ロビーでの各出展ブースなどもあり、大会の全てにおいて祝福が与えられました。

皆様のお祈りとご支援に心から感謝します。主に感謝！主に栄光！



第 61 回 TPKF 大会説教要約

※ TPKF 所属教会のメンバーは聖会のメッセージを視聴できます。教会の牧師に確認してぜひご視聴ください！

聖会 1 最後まで走り抜け

聖書に登場する指導者たちで最後まで立派に走り終えたのは 3 割。私たちは、最後まで立派に走り終えたいという、はっきりとした熱意が必要。この決意をすることには緊急性がある。パウロが最後まで立派に走り終えることができた 3 つの秘訣（使徒 20：22～38）。① 人生の使命（神との関係）：神から与えられた使命を果たす。② 清い良心（自分自身との関係）：すべきことをやり、すべきでないことをしない。そうでないと罪責感や悔いが残る人生となる。③ 永続的な友情（他人との関係）：家族や友と時間を過ごすことを大事にしているか。パウロは、人々を愛するということを中心に持っていた。最後まで立派に走り抜くことについて考えよう。

聖会 2 3 人の王：サウル、ソロモン、ダビデ

(1) サウル：非常にかたくなな心（Ⅰサムエル記 15：10～26）。神を恐れるかわりに人を恐れ、神への従順から離れてしまった。神への奉仕よりも、神に対する従順を重んじなければならない。民の前の名誉よりも、神との関係を重んじなければならない。

(2) ソロモン：軟弱な心（Ⅰ列王記 3：1～15）。初めは謙遜であり、正しいことを求めていた。しかし、多くのものを手に入れ、肝心な主の道に歩むことから外れた。肝心なことを知り、その一つのことに固執しよう。神があなたに繰り返し語っておられる一つのことがあるだろうか。繰り返し与えられている聖句があるだろうか。

(3) ダビデ：神の心になかった人（Ⅱサムエル記 24：10～25）。神に対して罪を犯すことがあったが、そのたびにいつも神の前に悔い改めを行った。だから、立派に走り終えることができた。私たちに起こることは、起こることへの対処の仕方ほど重要ではない。

聖会 3 サムソン、エリ、サムエル

(1) 士師サムソン：致命的無知（士師記 16：15～21）。主の臨在と主の不在について無知。他者に助言を求めていたら、敬虔な仲間がいたらどうだっただろうか。致命

的な独立心の結果として、私たちが致命的無知の危険の中にいないだろうか。

(2) 祭司エリ：盲点（Ⅰサムエル記 1～4 章）。息子たちの悪行に対して、言葉で注意するだけで行動しなかった。エリの罪は「甘やかし」。どうしてそうってしまったのか。答えは、徐々に、である。忙しすぎ、自信過剰、優しすぎ、そして遅すぎた。神が私たちの盲点を示してくださるようお願い、それを認め、それについて何か手だてをとる用意をしよう。

(3) 預言者サムエル：しなやかさ（Ⅰサムエル記 3：1～10）。関わるすべての人物たちに落胆させられたが、落胆、拒絶、裏切りがサムエルをしなやかにした。サムエルは失望した時、神の所に行って神のことばを聞き、また行方人であった。しなやかさを身に着け、養うためには①他人を裁き、非難する誘惑に立ち向かう。がっかりさせられても裁いたりしない。②個人的に拒絶を受けた時に、それを恵みとして受け取る。③落胆に打ち勝ち、前進する。

聖会 4 モーセとバプテスマのヨハネ

(1) モーセは約束の地に入ることを願ったのに入れなかった（申命記 3:21-29）。

(2) バプテスマのヨハネはイエス様を指し示したが、疑うこともあった（マタイ 11：1～11）。自分が生きている間に正義が実現するのかどうかは知らないまま死ぬことになった。

人生で明確な終わりのない終わり、正されていない不正、実現していない期待、そういうことがあったとしても私たちは最後まで立派に走り抜くことができる。自分の願ったとおりの人生ではないかもしれない。しかし、神様のみこころに自分を委ねていけば、神様は私たちが見ている以上のものをご覧になっているということ。私たちは信じる必要がある。良い神様であり、知恵ある神様である。私たちの地上の人生が終わり、天に上げられた時に、私たちは全ての完全な終わりをそこで見る。このことばを共に告白しよう。「神様、あなたが助けてくださるならば、私は最後まで走り抜きます！」

（札幌義宣）

あかし

TPKF大会に参加して

Life Share Christian Center 津嘉山ドミニキ

私は長崎県の長与町にあるライフシェア・クリスチャンセンターという教会でスタッフをしています。この教会は開拓して2年がたち、今年の5月に2周年記念をお祝いしました。メンバーのほとんどが20代の若い世代で、最近クリスチャンになった日本人も多く集っています。私たちの多くは、これまでライフシェア・ファミリー以外のクリスチャンと出会ったことがありませんでした。

そんな中、TPKF大会に参加し、他の日本人クリスチャンと初めて出会うことができたのです。みんなが仕事を休んで一緒に参加できたのも、本当に神様の導きだと感じました。「神様は、小さなことまで心に留めていてくださる」——それを強く思い出させてくれる機会となりました。日本の教会には若い人が少ない現状があります。だからこそ、

ライフシェアのユースがTPKF大会に参加できたことは大きな喜びでした。そして、それが他の教会の方々への励ましにもなっていたら、こんなに嬉しいことはありません。

私は教会でワーシップリードをしています。TPKF大会での賛美の時間は特に心に残りました。キリストのからだの一致を感じながら、みんなが自分の声が聞こえないほどの大きな声で賛美する中で、自然と涙が流れました。周りには若い人が少なかった中、近くの席に座っていた年配のご夫婦が、周囲を気にせず手を上げ、心から神様に賛美している姿を見て、その喜びと信仰に大きく励まされ、祝福されました。神様は本当に素晴らしい方です。



TPKF大会の証し

町田純福音教会 石井涼子

「聖書の登場人物で最後まで走り抜いた人は30%」衝撃の一言でした。さらに「最後まで走り抜くとは、願っているものを最後に手に入れるということでしょうか。」最後の集会で講師はそう語り、モーセとバプテスマのヨハネを例に出された。

「岩に命じれば岩は水を出す。」と言われたところを民の言葉に逆上し、杖で岩を2度打ってしまったモーセ。それゆえに長年の夢であった約束の地に入ることはかなわなかった。

「荒野で叫ぶ声」であったバプテスマのヨハネ。ヘロデ

の妻の策略によって殺されてしまい、その願いはかなったのだろうか。

私たちは、願っているものを最後に手に入れられるとは限らない。思い通りにいかず、落胆の連続かもしれない。そのつどそのつど神に祈りゆだねるとき、神がその物語を祝福して終わらせてくださる。

今回の大会で、聖書の人物をお手本に、イエス様と一緒に歩いていく大切さを私はかみしめた。イエス様と一緒に最後まで走り抜きましょう。

TPKF大会で受けた恵み

Bunkyo Gospel Centre 河合保昌

今大会のテーマ「最後まで走り抜け」について、直接デビッド・ワング師のメッセージを聴けたことは、同名の著書を読ませていただいていた僕にとって大きな恵みでした。まるで、文章（言葉）が命を得て迫ってくるような体験的な学びでした。

人生に問題や失敗は付きものです。自らの罪に苦しむこともあります。しかし、その度に悔い改め、御声を聞き、みことばに留まることが、信仰生活を最後まで走り抜くために大切であると学びました。また、久しぶりに再会した

信仰の友との交わりの時や、名前も知らない多くの兄弟姉妹と捧げる賛美の時は、まさに天国の前味のように祝福に満ちたものでした。

あの日に受けた恵みを自分の中に留めることなく、日本のリバイバルのために最後まで走り抜く者でありたいと願います。「私は決勝点がどこかわからないような走り方をしていません。」（1コリント9：26）

主に栄光をお返しします。



教会紹介

甲賀キリスト福音教会 滋賀県甲賀市甲賀町相模 179-2

あなたの教会の年間聖句は何ですか？

「あなたがたも、御霊の賜物を熱心に求めているのですから、教会を成長させるために、それが豊かに与えられるように求めなさい。」（I コリント 14：12）

伝道は何に力を入れていますか？

ちから誌、クリスチャン新聞福音版を親戚、近所に配っている。トラクトも町内外に全戸配布している。クリスマスやイースターにイベントをして、チラシを新聞折り込みし、誘っている。子供クリスマス会に、餅つきもして、多くの親子が楽しめるように願った。

教会形成では何に力を入れていますか？

御言葉を深く理解するため、テキストを用いて聖書の学び会を講師を招いて行っている。祈祷会を近くの教会と合同で行い、地域として聖霊の豊かな油注ぎを求めている。

（大北文広）



教会情報

■ T P K F

○次世代育成プログラム開催

責任者：芳三容子師、山本義武師、上田勇矢師

目的：次世代の育成

場所：ライフシェアクリスチャンセンター（津嘉山ファビオ宣教師夫妻）

期間：2025年内の2週間

参加者：次世代を担うユース、ユースリーダー、NeG教職他

内容：実践的なアウトリーチ、外国人チームとの共同作業等

■ イースト

○秦野クリスチャンセンター

伝道所として開成クリスチャンセンターを開設、

8月2日開所式、8月3日礼拝スタート

芳三容子師、荒井恵子師が同センターの牧師に就任

〒258-0024 神奈川県足柄上郡開成町中之名358-1 バードハイム101

TEL. 070-3191-6690 kaiseichristiancenter@gmail.com

○横須賀クリスチャンセンター

芳三容子牧師は、開成クリスチャンセンター牧師就任のため辞任。固定電話廃止。新規電話番号 080-5280-3257

○伊勢原聖書キリスト教会

固定電話廃止。

■ F C M F

○福井自由キリスト教会

・70周年メモリアルコンサート

10月25日（土）開場13:45／開演14:30

ゲスト：Ruah Worship

会場：ハーモニーホールふくい小ホール

オープニングアクト：KGCM-FUKUI他

・70周年記念礼拝 10月26日（日）10:30～12:30

メッセンジャー：小山大三師（岐阜純福音教会）

音楽ゲスト：Ruah Worship

■ K F K

○K F K長老執事訓練コース 7月21日（月）

テーマ：「目からうろこの終活」

講師：広田信也師（須磨自由キリスト教会協力牧師）

○K F K 75周年大会 10月13日（月）

テーマ：エベン・エゼル「ここまで主がわたしたちを助けてくださった」（I サムエル記7：12）

ゲストスピーカー：ハリ・ハコラFida代表

○ペンテコステ誌編集委員

西川牧雄師に代わり吉田隆師が新編集委員になりました。

単立ペンテコステ教会フェロシップ諸教会

北広島自由キリスト教会／平川めぐみ教会／房総中央キリスト教会／大佐和キリスト教会／町田純福音教会／鶴見純福音教会

横浜フィラデルフィア教会／磯子フィラデルフィア教会／金沢フィラデルフィア教会／横須賀クリスチャンセンター

保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル／戸塚カルバリー純福音教会／栄シャローム福音教会／伊勢原聖書キリスト教会／秦野クリスチャンセンター

開成クリスチャンセンター／北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音教会／南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会

甲府カルバリー純福音教会／ハーベスト・チャーチ山梨／裾野純福音キリスト教会／御殿場純福音キリスト教会／富士純福音キリスト教会グレイスチャーチ

いのちのパンの家 湘南／小松ベタニヤ福音教会／ホープハウス／福井自由キリスト教会／ブンキョウゴスペルセンター

松岡福音教会／丸岡福音キリスト教会／勝山自由キリスト教会／The Lighthouse 749（三国）／武生自由キリスト教会

グローリーチャーチ敦賀自由キリスト教会／金津福音キリスト教会／小浜キリスト福音教会／小浜キリスト福音教会三方伝道所／高富グレイスチャペル

岐阜純福音教会／岐阜純福音白鳥教会／岐阜ライフチャーチ／美濃グレイスチャーチ／本地ヶ原自由キリスト教会

瀬戸サレム教会／グレイスインクライスト教会（大阪キリスト福音教会名古屋伝道所）／滋賀キリスト福音教会／守山キリスト福音教会

大津韓国福音教会／大津キリスト福音教会／田上キリスト教会（大津キリスト福音教会伝道所）／甲賀キリスト福音教会／水口キリスト福音教会

甲西キリスト福音教会／雲井キリスト福音教会／米原キリスト福音教会／綾部キリスト福音教会／亀岡ベタニヤ教会／京都キリスト福音教会

山科キリスト福音教会／深草キリスト福音教会／宇治キリストペンテコステ教会／木幡キリスト福音教会／大阪キリスト福音教会

須磨自由キリスト教会／神戸フィラデルフィア教会／LifeShare Christian Center／南さつまキリスト福音教会

私たちの願いはすべてのT P K Fの信徒が1部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。pentecost@tpkf.org

T P K Fの公式ホームページ <https://tpkf.org/>

